

# 名張市から紀宝町への 災害派遣者に聞く



● 自然災害の脅威に直面  
**深山 哲郎**  
(名張市 企画財政部 危機管理室)

昨年9月、紀宝町に派遣され、被害家屋の認定調査などを行いました。見渡せる地区全体が沈んだという現実を目の当たりにして、自然災害の脅威を改めて思い知らされました。これから台風や集中豪雨の警戒シーズンを迎えます。昨年の台風12号襲来時、名張市内では、青連寺・比奈知・室生の3つのダムが名張川の水位を調整し、はん濫を防ぎましたが、自然災害は、時として従来の認識を遙かに超える場合があります。風水害時、「自分は大丈夫だろう」と考えずに、まずは、ラジオなどで情報収集に心がけ、危険だと感じたら早めに避難してください。また、名張市では、6月から「土砂災害情報相互通報システム」の運用を始めましたので、河川の氾らんはもちろん、豪雨による土砂災害にも十分に警戒してください。

# 「広報きほう」の 編集者に聞く



● 取材で感じた地域の力  
**竹鼻 康さん**  
(紀宝町 企画調整課 広報広聴係)

台風の恐ろしさを後世に伝えるために「広報きほう」で特集を組みました。災害の経験を風化させずに、一人ひとりが防災意識を持ち続けることが大切だと思います。今回取材した中で感じたことが、地域の力の大切さです。みんな隣近所に精通していて、避難時だけでなく、被災後の避難所においても、地域が一体となり、支え合って生きていくと改めて感じました。これはすごく重要なことであり、発災時にいかなく発揮されるものだと思います。被災当時、私も住民救助に携わりました。停電で真っ暗闇の中、民家は2階の屋根部分まで浸水した状態で、もう、無我夢中で活動しました。「無駄足になっても、安全なうちに、早く避難してほしい」。名張の皆さんにも、そう心から訴えかけたいですね。



● 広報きほう  
平成23年12月号(A4判/全44ページ)では、台風12号の被害を後世に伝えようと、浸水・土砂崩れの記録や被災者の体験談などが丁寧にまとめられています。「災害の恐ろしさが明確に理解できる」と評価され、平成24年全国広報コンクールの広報紙部門(町村部)では特選を受賞。発行後は、学校の授業や自治会の講習会の教材としても使用され、防災意識の向上に生かされています。

「広報きほう」は、紀宝町ホームページで閲覧いただけます。  
<http://www.town.kiho.mie.jp>

## 台風や集中豪雨に備えて

● 情報を集める  
市では、避難勧告などの発令時、FMなばり(83.5MHz)や防災ほっとメール、サイレン(約1分間鳴る⇒5秒休止)の繰り返し、広報車の巡回、市のホームページ、ケーブルテレビなど、さまざまな手段を通じて、情報提供します。



● 家や周囲の点検  
台風などが近づいてきたら…  
▼物干し竿や植木鉢などは家の中へ  
▼雨戸を閉める。補強する  
▼断水に備え、飲料水を確保  
▼浸水の恐れがある場合は家財道具を高いところへ

● 避難場所・経路の確認  
家族や地域で、災害時に集合する避難場所や避難経路などを再確認。非常持ち出し袋の中身もチェックしておきましょう。



## 6月から「土砂災害情報相互通報システム」を運用開始

がけ崩れや土石流、地すべりといった土砂災害の危険性が高まったことを皆さんにお知らせし、皆さんからも、土砂災害の前ぶれなどについて情報提供いただくための仕組みです。

☎ 危機管理室 ☎ 63-7271

情報収集・提供の手段と方法 ★土壌に含まれる雨量予測や過去の土砂災害のデータなどから、土砂災害の危険度を判定します

- インターネット
  - ▼ <http://www.dosha.city.nabari.mie.jp/> (パソコン用)
  - ▼ <http://www.dosha.city.nabari.mie.jp/mobile/> (携帯電話用)
- FMなばり(83.5MHz)
  - 土砂災害の危険度が高まると、通常の放送に割り込み、情報提供します。
- 防災ほっとメール
  - 土砂災害情報を含め、防災・防犯情報を電子メールで情報提供します。※登録は無料です。携帯電話やパソコンで <http://www.anshin-bousai.net/nabari/> に接続いただき(右のQRコードを読み込んでも接続可)、登録してください。
- 電話・ファクス
  - 電話やファクスで土砂災害の危険度や雨量が確認できるほか、皆さんからは、災害情報を提供いただけます。土砂災害の危険度が高まった際、自動的に電話がかかる・ファクスが届く設定もできます。<☎62-1223>へ電話をかけて、音声ガイダンスに従ってください。※音声聞き取りにくい人やダイヤル回線の人は、問い合わせ先へ

土砂災害には、こんな前ぶれがあります ★下記のような土砂災害の前ぶれに気付いたときは、情報提供をお願いします

- がけや斜面にひび割れができる
- がけや斜面から小石が落ちてくる
- がけや斜面から水が湧き出る
- 湧き水が止まる
- 湧き水や沢の水、井戸にごる
- 急に川の水にごり、流木が混ざり始める
- 雨が降り続けているのに川の水位が下がる
- 地鳴りや山鳴りがする。立木がさける音や石がぶつかり合う音が聞こえる

★避難勧告などの発令時に鳴るサイレンの設置場所 名張小学校、蔵持小学校、薦原小学校、新田ポンプ庫、下比奈知ポンプ庫、滝之原ポンプ庫、安部田ポンプ庫、赤目ポンプ庫、箕曲公民館、国津園デイサービスセンター、長瀬公民館、消防本部、桔梗が丘分署、つじが丘出張所